



はじめに

Marvell 88MW300

WBSACVLXY-1編

Rev. 1.0
2016/11/14

1. はじめに

このたびは、eForce製品をご試用頂きありがとうございます。

本書は、太陽誘電社の無線LAN評価ボードWBSACVLXY-1に対応しており、評価版パッケージの制限事項、インストール手順について説明いたします。

制限事項

本評価版は WBSACVLXY-1 上での試用を対象としています。収録されているプログラムを製品評価以外の目的で使用することはできません。本評価版は製品版とは異なり、カーネルのソースコードが含まれないほか、下記の機能制限がなされています。

1) RTOS ID 数の制限

ユーザには見えない RTOS 内部で使用する ID も含め、すべてのオブジェクト ID をユニークな 8bit の値で管理しています。その ID 総数は、次の式で計算され、製品版では 512 ですが、評価版では 40 に制限されています。

	タスク優先度上限
	共有スタックの個数
	タスクの個数
	セマフォの個数
	イベントフラグの個数
	メールボックスの個数
	データキューの個数の 2 倍
	固定長メモリプールの個数
+) 周期ハンドラの個数	
<hr/>	
ID 総数	

2) TCP/IPプロトコルスタック

全般

- ・使用可能ソケット数は8
- ・マルチキャストは使用不可
- ・IP reassemblyは使用不可
- ・ネットワークのMTUサイズ、ネットワークバッファ数、変更不可

HTTPサーバー

- ・セッション最大数：2

DHPCサーバー

- ・リース期間は86400から変更不可
- ・リースデータ最大数は10から変更不可

DHCPクライアント

- ・拡張機能は使用不可

HTTPクライアント

- ・HTTPベーシック認証使用不可
- ・HTTPダイジェスト認証使用不可
- ・HTTP over SSL/TLS使用不可
- ・カスタムヘッダ設定不可

FTPサーバーは使用できません。

SSLは収録していません。

3) 無線LANドライバ

WPSは使用不可

WPAパスフレーズからPSKを計算する関数wpa_pass_to_psk_stringの使用不可

4) その他

フラッシュメモリからプログラムをブートするモジュール【ブートローダ】のソースコードとバイナリを収録していません。作成したプログラムはデバッガから実行します。

2. インストール

uC3WifiSDK_88MW300_eva_ewarm.exe¹を実行し画面に従いプログラムをインストールします。最初に下記メッセージが表示されるので、インストール時の言語を選択し、OKをクリックします。



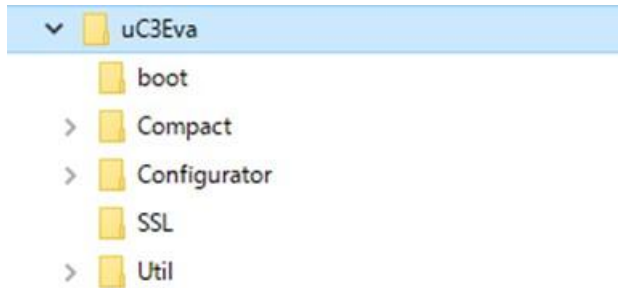
下記メッセージでOKをクリックし、その後画面のメッセージに従いインストールを実施します。




¹ ターゲットコンパイラ毎に評価版インストーラを用意しています。本書では IAR システムズ社コンパイラ向けを例としています。

フォルダ構成

インストールが完了すると、以下のフォルダ構成となります。



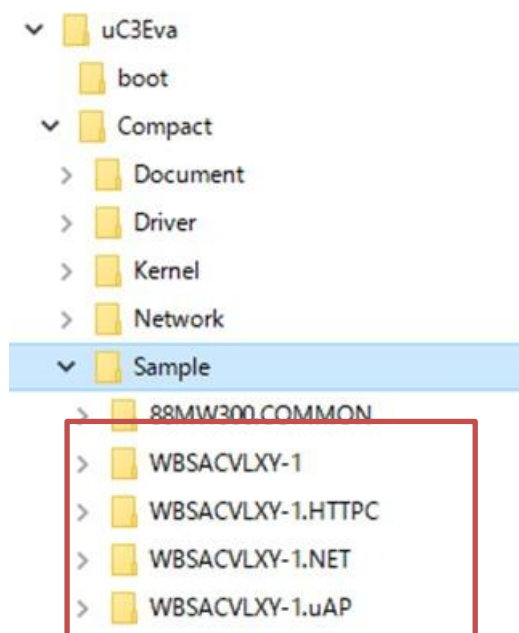
コンフィグレータの起動

μ C3/Compactでは、RTOSやTCP/IPプロトコルスタックのコンフィグレーションが簡単に行えるようにGUIのコンフィグレータが付属しています。インストール時に「デスクトップにアイコンを作成する」を選択した場合は、デスクトップに作成されたのアイコンを実行すると、μ C3コンフィグレータが起動されます。

または、直接「¥uC3Eva¥Configurator¥Configurator.exe」を起動してください。

サンプルプログラムの実行

μ C3/Compact では、評価ボードをターゲットとしたサンプルを用意しています。
サンプルプログラムの実行方法は、**各サンプルの Readme.txt** を参考にして下さい。
各評価ボードのサンプルプログラムは、パッケージをインストールした Sample²フォルダにあります。



サンプルの内容および実行は、各フォルダの build¥ewarm¥Readme.txt を参照してください。このファイルは製品版と同じファイルを収録しているため、評価版の制限事項を考慮していませんので注意してください。例えば、ブートローダは評価版には収録していないので、【ブートローダからの実行】は行えません。

² 収録サンプルは使用される評価版毎に異なります。

